



「Tokyo Metro ACCELERATOR 2016」編

東京メトロでは、当社保有の経営資源と、社外の経営資源やアイデアを組み合わせることによる新しい価値の創造を目指し、企業アクセラレータープログラムである「Tokyo Metro ACCELERATOR（東京メトロアクセラレーター）2016」を実施しました。応募総数138件の中から、3件の提案を「東京メトロアクセラレーター賞」として決定し、パイロット施策やテストマーケティングの実施に向けて引き続き協業を行っていきます。

今回は、「Tokyo Metro ACCELERATOR 2016」の取組みについてご紹介します。

「Tokyo Metro ACCELERATOR 2016」とは？

東京メトログループでは、新たな事業領域への挑戦として、産学連携やオープンイノベーションプログラムなどを通じて外部との連携を探りながら、お互いの強みを発揮した事業に取り組むことを現中期経営計画「東京メトロプラン2018」において一つの目標としております。

その実現のために、日本最大級のオープンイノベーションプラットフォームを運営するCreww株式会社の協力のもと、当社がこれまで培ってきた経営資源を社外に解放し、従来の枠を越えた新たな取組みに挑戦するプログラムである「Tokyo Metro ACCELERATOR 2016」を実施することとしました。これにより、東京の更なる発展に寄与できる新しい価値の創造を目指していきます。

東京メトロの経営資源

×

スタートアップ*の経営資源

- (例)
- ・1日707万人のお客様へのアプローチ
 - ・195.1^{km}の鉄道ネットワーク、都心部を中心とした地域の玄関口である179の駅
 - ・337編成(2,728両)の車両
 - ・駅構内店舗、商業ビルなどの関連事業施設
 - ・駅構内広告、デジタルサイネージ、公式サイト、東京メトロアプリ、フリーペーパーなどの各種媒体
 - ・鉄道運行等に関する当社が保有する様々なデータ



- (例)
- ・ユニークなサービスやアイデア
 - ・最新の技術やプロダクト
 - ・技術革新やライフスタイルの変化に対する機動力 など



スピーディーなイノベーションの創出が可能に！

東京メトロとスタートアップの経営資源を掛け合わせることで、お客様の満足、駅周辺の活性化、そして東京の発展に寄与できる新しい価値の創造を目指します。

*スタートアップとは・・・

独自の技術やアイデアによって前例のないビジネスモデルを創り出し、既存マーケットに挑戦する成長速度の速い企業を指します。

実施スケジュール

エントリー開始に先立ち、オリエンテーションを実施し、約150名の方にご参加いただきました。その後、エントリーを受け付け、Crewwのアクセラレータープログラムにおいて過去最大となる**138件のエントリー**がありました。

そして、1次審査を通過した33件の提案者と東京メトロ担当者によるエントリー内容のブラッシュアップを行い、お互いの経営資源、サービス内容の理解や提案内容の深堀りを実施しました。

その後、2次審査を経て、6件が最終プレゼンテーションに臨むことになりました。

| | |
|------------------------|------------------|
| 2016年10月27日（木） | オリエンテーション |
| 10月31日（月） ～11月9日（水） | エントリー期間 |
| 11月11日（金） | 1次審査 |
| 12月5日（月） | 2次審査 |
| 12月15日（木） | 最終プレゼンテーション・結果発表 |

今後、パイロット施策やテストマーケティングへ

東京を走らせる力



最終プレゼンテーション ～テーマは「東京の更なる発展に寄与する新しい価値の創造」～

2016年12月15日(木)、東京・六本木にあるベルサール六本木コンファレンスセンターにて、6社によるプレゼンテーションが実施されました。審査は、社内審査員4名と外部審査員3名により行われました。



スタートアップによるプレゼンテーションの様子



審査員による質疑の様子



審査員による審査協議の様子

【審査員一覧】

(順不同・敬称略)

| | | | | | |
|-----------|---------------------------|------------------|-----------|----------------|---|
| 社内 審査員 | 【審査委員長】 高山輝夫(たかやま てるお) | 専務取締役・経営企画本部長 | 外部 審査員 | 五嶋一人(ごしま かずひと) | 株式会社iSGSインベストメントワークス 代表取締役 代表パートナー |
| | 米彰(よね あきら) | 鉄道本部 鉄道統括部長 | | 麻生要一(あそう よういち) | 株式会社リクルートホールディングス Media Technology Lab. 室長 |
| | 古川守(ふるかわ まもる) | 事業開発本部 流通・広告事業部長 | | 伊地知天(いじち そらと) | Creww株式会社 代表取締役 |
| | 小坂彰洋(こさか あきひろ) | 経営企画本部 企業価値創造部長 | | | |

表彰式の開催 ～「東京メトロアクセラレーター賞」を3社に授与～

プレゼンテーションに続き、別室にて審査協議を行い、ユニークさや将来性、インパクトを審査基準として、「東京メトロアクセラレーター賞」を3社選定しました。

その後の表彰式では、選ばれた3社に対して、東京メトロ代表取締役社長の奥義光より、目録の授与が行われました。



受賞写真

・右より、東京メトロ社長 奥義光、(株)ログバー 山崎貴之氏、プログレス・テクノロジーズ(株) 小西祐一氏、(株)Tadaku 須佐宇司(すさ ひろし)氏、審査委員長 高山輝夫

「東京メトロアクセラレーター賞」受賞社名と提案内容

(記載はプレゼンの順番)

●〈視覚障がい者でも安全に暮らせるフラッグシップ都市の実現〉

プログレス・テクノロジーズ株式会社様(代表取締役社長 中山岳人)

【提案内容】

Beaconを活用した視覚障がい者向けナビゲーションシステムを活用し、視覚障がい者でも安全に暮らせるフラッグシップ都市の実現

【評価ポイント】

高い技術力と将来の発展性

●〈東京を言語のカベがない世界初の都市へ〉

株式会社ログバー様(代表取締役 兼 CEO 吉田卓郎)

【提案内容】

インターネット通信を介さない音声翻訳デバイス「iii(イリー)」を活用し、言語の壁を感じることなく自由に旅が出来る多言語インフラの実現

【評価ポイント】

場所を選ばず、タイムラグのないコミュニケーションをとれる高い技術力

●〈707万人の東京メトロ利用者が外国人とコミュニケーションを取れる世界の実現〉

株式会社Tadaku様(Shunsuke Ishikawa President)

【提案内容】

沿線の外国人料理教室のスタンプラリーを実施し、海外に行かなくても東京で異文化に触れる機会を提供することで、食を通じて各国・各地の文化の相互理解や伝承に貢献

【評価ポイント】

シェアリングエコノミーとしてのユニークさ、地域との共生とサービスの新規性

＜高山輝夫 審査委員長講評＞

どのプレゼンテーションも、自社と東京メトロの特徴を組み合わせ、東京の更なる発展に寄与する新しい価値の創造、という今回のテーマに沿った将来のビジョンを明確に描いていたという印象です。また、パイロット案についても、実現可能性や検証といった観点を大事にしながらも、パイロットの内容だけでも十分に興味深いものとなっております。

甲乙付けがたい審査となり、審査委員長としても大いに悩みましたが、ユニークさや将来性、インパクトを重視し、「東京メトロアクセラレーター賞」として、3社を選定しました。

今後の展開

今回受賞された3社とは、パイロット施策やテストマーケティングの実施に向けて、内容のブラッシュアップ等、当社と引き続き協業を行っていきます。実施時期については、鉄道の安全確保等を前提に、スタートアップのリソースでもある機動力を損なうことがないよう、速やかに実施していく予定です。詳細については、決まり次第、都度お知らせしてまいります。

これからも、このようなアイデアを生み出し、そしてそれらを育てていく環境整備に努めていき、お客様の満足、駅周辺の活性化、そして東京の更なる発展に寄与する新たな価値を創造してまいります。



決意を新たに、関係者一同で記念写真